

# 十 全

じゅうぜん

私たちは、市民の皆様に信頼され愛される病院を創造します。

特集

2

特集

1

## Topics

1. 新病院長・新副病院長のごあいさつ
2. 病院機能評価「一般病院3」を取得
3. 新診療科「遺伝子診療科」

食べものひとことメモ

センターカー（市大センター病院専用救急車）

市大センター病院と新型コロナウイルス感染症の記録

本誌の名称「十全」（じゅうぜん）とは

横浜市立大学附属市民総合医療センターの前身は、1874年（明治7年）に野毛山に開院した「十全病院」です。「横浜医科大学病院」と改称されるまでの約50年以上「十全病院」という名称で市民に定着し親しまれてきました。

特集

# 市大センター病院と 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の記録

春節直後の武漢封鎖からほどなくして、2月3日夜、ダイヤモンド・プリンセス（DP）号が横浜港に寄港しました。船内で一体何が起きているのか詳細なことは誰にもわからず、関係者はおしなべて当惑していました。翌2月4日夜、横浜市健康福祉局により20余の市内主要医療機関の感染部門担当者が市役所に緊急招集され対応が協議されました。これに先立ち当院では、救命救急センター長からの提案で重症者の治療に医療資源を集中投入することを当院の基本方針として決定しました。私たちはこの会議で横浜市健康福祉局、他の医療機関の関係者に対して私たちの方針を伝え、病状の重症度別に病院間で協力し合うことへの理解を訴えました。この時点から当院を含め市内医療機関のCOVID-19との闘いが始まりました。

DP号の横浜港停泊が長期化し、COVID-19患者のみならず体調を崩した患者が次々に搬送されてきました。当院の使命である高度医療・三次救急の機能を維持しつつ在来患者さんも来院されているなか、DP号患者との動線が交叉しないように大変神経を使いました。さらに当初はPCR検査の結果判明までに大変時間がかかり、その間は乗客患者を隔離の上、ケアにあたる全員が防護具で身を固めて職務の遂行にあたりました。医療スタッフとそれを支える職種、部門、職員が緊張、不安、そして疲労の限界を感じながらも患者さんの治療・ケア、家族への支援、自分の職務にいつも誠実に向き合っていました。感染制御部は職員の防護具着脱に関する講演・実技指導、日々の現場での感染対策の確認や精神面のフォローを行い、ケアのプロとしての自覚を鼓舞しながらも、心奥深くに潜む不安を取り除くことに苦心しま

した。さらに想定外にもDP号患者は検疫手続き未完了のまま搬送されてきており、検疫(厚労省)・保健(自治体)2つの異なる当局からの情報、要請、指示により現場の混乱に拍車がかかったことです。私たちは両当局間や各国大使館との調整にも多大な労力を払いつつ何とかこの難局を乗り切った感があります。ところが、すぐに医療物資不足による危機が追い打ちをかけるようになってきました。医療用マスクの枯渇は深刻で、例えば、サージカルマスクやN95マスクは、感染対策をとりながら職員一人一枚1週間の使い回しでしのぎました。



入院病床の様子

このような経験をわが国において最初に経験したことは、その後のCOVID-19応需体制の強化に生かされています。4月に入り東京でいわゆるオーバーシュート（感染爆発）による医療崩壊が憂慮された際には、当院の応需体制はほぼ整い、言わば“待ち伏せ”状態で構えていました。そし



防護服の脱着スペース

てDP号以降、現在に至るまでずっと安定的にCOVID-19診療を継続することができています。

COVID-19患者のケア、院内感染予防は医師・看護師のみで成立しているのではなく、薬剤師、臨床検査技師、病室・院内全体の清掃を担う清掃委託職員、栄養部職員、リネン職員、関連機関との調整や物品の調整を担う事務職員等、院内全員が感染症患者に対し、それぞれのプロとしての責任感と使命感を持って対応している結果、成り立っています。また、職員ひとり一人が日常生活においても感染予防に努めていることが院内感染予防に寄与しています。また、国・自治体のみならず心ある一般市民・企業の方々からの貴重な物資のご寄付をいただき、これらを活用することで試練を乗り切れたことに感慨の念を隠し切れません。改めてここに感謝申し上げます。

感染制御部 部長 築地 淳  
 師長 十文字 美代子



職員への実技指導の様子①



職員への実技指導の様子②

## 新型コロナウイルス感染予防のために

風邪や季節性インフルエンザ対策と同様におひとりおひとりの咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。風邪症状があれば、外出を控えていただき、やむを得ず、外出される場合にはマスクを着用していただくようお願いします。

### 新型コロナウイルス感染症の基本的な対策は「手洗い」と「咳エチケット」です。

手洗いは洗い残しがないようにしっかり行いましょう。外出から帰った後、食事の前、咳やくしゃみで手が汚れた後・鼻をかんだ後、病人のお世話をした後など、手洗いをを行う習慣をつけてください。咳エチケットは、インフルエンザなど呼吸器感染症に共通する感染対策です。マスクは咳やくしゃみのしぶきに含まれるウイルス・細菌を吸い込むのを防ぎます。また、自分の咳やくしゃみを直接他人にかからないようにカバーもできます。マスクを着用する際は、鼻まできちんと覆いましょう（小児科専門医の団体は2歳未満の子どもはマスクの着用は不要としています）。

#### 正しい手の洗い方



#### 正しいマスクの着用



## PCR検査とは

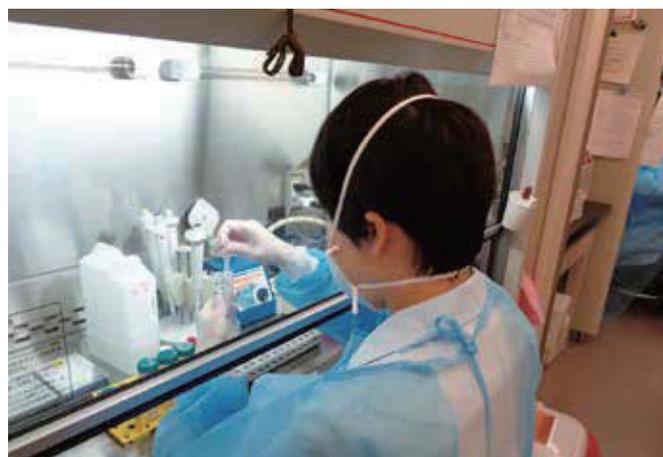
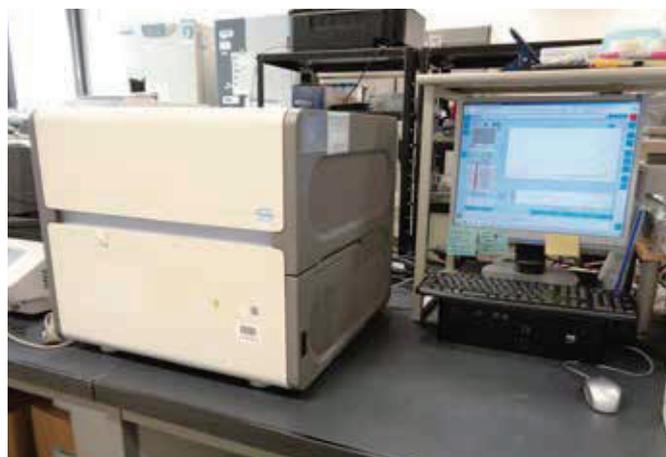
PCRとは、DNA合成酵素を使って、目的の遺伝子の一部を増やす方法のことで、コロナウイルス特有の検査名称ではありません。医療分野では、新型コロナウイルスの他に、肝炎ウイルスや結核菌の遺伝子検出、白血病や腫瘍の原因遺伝子の検出などに用いられています。

### 検査の進め方

鼻咽頭ぬぐい液、喀痰、唾液などが検査材料となります。臨床検査部に届いた検査材料から、まずウイルスの殻を壊し、RNAを抽出します。次に、RNAを検査試薬と混合し、PCR装置にセットします。殆どの工程が手作業のため、結果判明まで3～4時間かかります。

### 検査体制

臨床検査部では、2020年3月から新型コロナウイルスPCR検査の院内測定を開始しました。現在は一日約70件測定できる体制を整えています。感染制御部と綿密に連絡を取り、職員は一丸となって、感染拡大防止に取り組んでいます。



## 新型コロナウイルス緊急対策基金

新型コロナウイルス感染症患者の治療にあたる本学附属2病院や、学生への経済的支援のため「新型コロナウイルス緊急対策基金」を設置し、大学・病院への支援を募集しております。

当附属市民総合医療センターへお寄せいただいた寄附金は、新型コロナウイルス感染症の医療対策や医療従事者の診療環境整備等に活用させていただきます。皆様の温かいご支援を何卒お願い申し上げます。

新型コロナ緊急対策基金

検索



新型コロナウイルス緊急対策基金

検索

新型コロナウイルスにも関わらずに

横浜国立大学

# 特集2

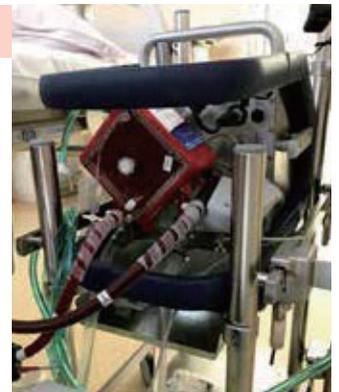
## センターカー (市大センター病院専用救急車)

2020年4月に新しい横浜市大附属市民総合医療センター専用救急車（通称：センターカー）が納車されました。いままでのセンターカーは主に病院間搬送のみの用途に使用されていましたが、新しいセンターカーは、従来の病院間搬送の機能に加え、昨今のCOVID-19流行で認識されるようになったECMO（体外式人工心肺装置）を装着した重症患者の搬送車両としての機能を有し、ECMOカーとしての活躍が期待されています。学会等の提言では、ECMOカーは日本全国で20台ほど必要といわれていますが、現在ECMOカーはまだ4台しかなく、当院のECMOカーはその先駆けといっても過言ではありません。



### 1 ECMO（体外式人工心肺装置）とは？

ECMO（エクモと読みます）は、疾病で肺や心臓の機能が低下し、人工呼吸器や薬を用いても酸素化や血圧が維持できない場合に使用する最後の砦の治療です。しかしECMOはあくまでも対症療法であり、根本的治療ではありません。ECMOでは患者さんの体に太い管を挿入し、血液を取り出し、ポンプで血圧をサポートし、人工肺で酸素化し、血液を体に戻します。そのため出血や感染症と言った合併症が起こりえます。根本的治療ではないため、他の治療効果が現れる、または患者さん自身の力で回復しない限りECMOは離脱できず、長期戦になる場合もあります。そのため長期でも合併症なくECMOを扱えるスキルが必要です。



### 2 ECMOチーム：YACHT (Yokohama Advanced Cardiopulmonary Help Team) とは？



ダイヤモンドプリンセス号の集団感染から本年9月現在までにおいて、当院ではCOVID-19で重症化した患者さん7名に対してECMOを導入し、6名が生存退院しています。全国的な生存率（約70%）よりも高く、合併症もほぼありません。この結果は、医師だけでなく、看護師、臨床工学技士、薬剤師、理学療法士、放射線技師、そして事務方と全ての職種がうまく連携できた賜物であります。ECMO診療には、ECMOに習熟したチームが必要であり、当院ではYACHT（ヨットと読みます）と名付けられたECMOチームが、診療マニュアルの作成やシミュレーショントレーニング企画運営をとおり、日々その質を高めています。

### 3 ECMO搬送と集約化

先に述べたようにECMO診療はECMOチームが行うことが、合併症を減らし、生存率を高めます。ECMOを必要とする患者さんの数は横浜地域でも年20~30件程度であり、症例の集約化が望ましいとされています。しかし重症化してしまった患者さんは搬送に耐えることができない場合もあり、ECMOを導入できず前医で亡くなられた方もいます。このような状況を改善すべく今回、新しいセンターカーが導入されました。この新しいセンターカーには、ECMO搬送専用ストレッチャーと搬送中のトラブルに対応できるスペース・バッテリーを有し、YACHTが重症患者のもとに赴き、ECMOを前医で導入し、状態の安定化をはかった上でセンター病院まで転院させる（ECMO搬送）ことが可能になります。まさに救急集中治療のデリバリーシステムです。

### 4 横浜・横須賀地域を支えるECMOセンターをめざして

今年8月7日に横須賀市立市民病院とECMO搬送に関わる協定書を締結しました。このような取り組みは今後横浜・横須賀地域の他の病院とも提携し、センター病院が地域の最後の砦として、ECMO診療を提供できる体制づくりを今後も進めてまいります。

Topics.1 新病院長・新副病院長ごあいさつ



・ 榊原病院長 ・

ためのサーモグラフィーや消毒用アルコールを設置したり、入院患者さんの面会制限などを実施しています。また、初診時の待ち時間を減らすための紹介予約制、来院せずに受けられるオンラインセカンドオピニオン、当院での治療終了後の管理をかかりつけ医にお願いする逆紹介などを推進して外来の3密回避を推進しています。いろいろとご不便をおかけすると思いますが、ウィズコロナにおける感染予防のため、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

本年4月より病院長を拝命しました榊原です。専門は婦人科です。よろしくお願いいたします。当院は病院の理念として、地域医療の最後の砦として「救急医療及び高度専門医療」を提供することを掲げています。

新型コロナウイルス感染対策においては、2月のクルーズ船の時から関わり、4月以降は神奈川県の新規新型コロナウイルス感染対策の神奈川モデルの中の高度医療機関としてECMOも含めた重症患者の受け入れを担っています。一方で、通常の救急、がん、難病の治療も縮小させることなく継続しています。

病院内では3密対策として、入り口に体温チェックの



足湯が大好きです

本年4月より副院長を拝命いたしました、湯村寧と申します。当院に勤務し始めて12年になります。専門は泌尿器科ですが、その中でも男性の不妊症・性機能障害を中心に診療を行っており、現在は生殖医療センターの部長を務めています。副病院長としての担当は経営・地域連携推進・働き方改革推進です。やるべきことは山積しておりますが、これらの事業はみな密接に関連しており、コツコツと一つずつ問題を解決していくことで、この三つの事業のさらなる向上が見込めるのではないかと考えています。加えて

・ 湯村副病院長 ・

地域のみなさまにより一層愛され、信頼される病院、職員の皆様にも働きやすい病院をつくるために頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



## Topics.2 病院機能評価について ～安心安全な医療を患者さんへ～

患者さんが病院にかかる際「しっかり説明してもらえるのだろうか」「自分の意見を聞いてもらえるのだろうか」など、多くの不安を抱えて受診されると思います。また、受診する病院の一般的な評価についても気になる場所だと思います。

その様な患者さんの不安や疑問を和らげるための一つのツールとして、病院機能評価という仕組みがあります。病院機能評価は病院の規模等により、様々な種類がありますが、当院は令和2年1月6日に日本医療機能評価機構より、機能種別「一般病院3」の認定を受けることができました。(令和2年1月6日時点では、神奈川県内初、特定機能病院以外では全国初の認定)

「一般病院3」は、特定機能病院や大学病院本院のような高度な医療を提供する病院を評価する機能種別で、その認定を受けるためには高いレベルで患者の視点に立った良質な医療を実践している病院であることが求められます。

今後も引き続き、安全・安心、信頼と納得の得られる医療を提供すべく、皆さまに愛される病院づくりに努めていきます。



## Topics.3 新診療科紹介「遺伝子診療科」

令和2年4月より新設された診療科です。遺伝子診療科は名前を聞くと何をすると分らず敬遠されることもありますが、遺伝性の疾患やその疑いのある患者さんの検査やカウンセリングを行う診療科です。また様々な遺伝に関わる検査の意義や結果の解釈などを患者さんに対して分かりやすく説明を行います。具体的には診療科の垣根を越えて様々な先天性疾患や遺伝性腫瘍を扱うとともに、周産期や生殖医療で行われる出生前診断・着床前診断のカウンセリング、また当院でも運用が始まったがん遺伝子パネル検査のバックアップなども行います。遺伝学的検査は以前より先天性難病の確定診断などに用いられてきましたが、遺伝子研究の進歩と検査技術の革新によって、各科の日常診療でも遺伝子情報をもとにした診断やリスク予測などのために実施される機会が増え、身近なものになってきています。しかしその情報が診断や治療に活かされることがある反面、解釈の難しい結果が得られ困惑してしまう事例も出てきています。また遺伝情報は患者さん本人だけではなく家系全体に関係する可能性があります。遺伝子診療科では遺伝の検査や結果について分かりやすく情報・知識を提供することで不安や困惑を軽減するとともに、それをもとに患者さんや血縁者の方が更なる検査や治療について自律的な選択ができるための支援を行います。また、立ち上がったばかりですが、遺伝にまつわる様々なニーズに対応ができるように努めていきたいと思えます。



# 管理栄養士からの 食べものひとことメモ

## 料理・素材に関して一言

煮物など和食にかかせない「里芋」は夏頃から収穫が始まり、9月頃から旬になるといわれています。日本に入ってきたのは縄文時代といわれており、現代でも縁起物として正月料理に用いる風習が全国各地に残っております。里芋は他の芋類に比べて低カロリーで食物繊維やカリウムが豊富です。独特の粘質（ぬめり）はガラクトマンという成分によるものです。ガラクトマンは血圧や血中コレステロールを低下させる役割があるといわれています。和食に多く利用されている里芋ですが、今回は里芋を使ったサラダをご紹介します。三つ葉以外にも、彩りとしてきゅうりやハム、ツナなどを加えても美味しくできます。



## 里芋のサラダ

エネルギー：153kcal、たんぱく質：1.6g、塩分：0.7g

### 材料：1人分

- 里芋 80g
- 三つ葉 5g
- マヨネーズ 大さじ1杯強（約15g）
- 醤油 小さじ1/2杯（3g）



## 作り方

- ① 里芋をよく洗い、水から皮ごと茹でる。電子レンジを利用する場合には、100gあたり500Wで約2分半加熱（機種やワット数により異なるので、硬さをみて調整する）。
- ② 三つ葉は2cm程度切っておく。
- ③ ①の里芋は竹串がスッと通る柔らかさになったら、ざるにあげる。
- ④ 熱いうちに布巾などを利用して、皮をむき、ボウルに移して冷ます（里芋が大きい場合、一口大に切る）。
- ⑤ ④に三つ葉と調味料を加えて和え、器に盛りつける。

## 患者さん・ご家族からの紹介予約が一部診療科で可能になりました

### ◇患者さん・ご家族



### ② 紹介予約申し込み

### ③ 診察当日

「診療情報提供書」「保険証」  
「受診のご案内」

### ◇紹介元医療機関



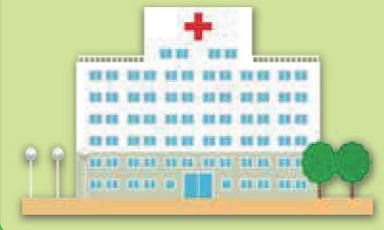
①「診療情報提供書」の  
交付（または病院への郵送）  
「受診のご案内」

### 【患者さん予約専用ダイヤル】

●TEL 045-253-5757

●受付時間 13:00～16:30

※上記紹介予約専用ダイヤルは土日祝を除く



診察までの  
待ち時間が減る

病院滞在時間が  
減ることで、  
感染リスクも低下する



◇患者さんから直接予約を取得出来る診療科（2020年7月末現在） ※最新の情報はホームページでご確認ください。

- 呼吸器病センター内科 ●泌尿器・腎移植科 ●皮膚科 ●乳腺・甲状腺外科 ●婦人科
- 形成外科 ●歯科・口腔外科・矯正歯科 ●炎症性腸疾患（IBD）センター内科
- 精神医療センター（代表番号 045-261-5656 より外来窓口でご予約を承ります。）

 横浜市立大学附属  
**市民総合医療センター**  
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY MEDICAL CENTER

〒232-0024 神奈川県横浜市南区浦舟町4丁目57番地  
電話：045-261-5656（代表）  
<http://www.yokohama-cu.ac.jp/urahp/>

## ■ 受付時間

初診	午前 8:30～午前 10:30
再診	午前 7:30～午前 11:30（一般診療） 午前 7:30～午後 4:00（予約診療） 【各センター・診療科により異なります】
休診日	土曜日・日曜日・祝日・年末年始